

令和6年度林業振興施策の実績について

公的森林整備の推進

事業名・内容	実績値	事業費
森林経営計画の認定	4 件 清住、谷川、井中、下小倉	—
間伐面積（100%作戦事業分）	281.81ha	1,322 万 1 千円 （県基金 141 万 5 千円）
作業道開設延長（市単独事業分）	31,243m	3,521 万円
高性能林業機械の導入支援	実施団体無	—
林道整備事業	2 件 林道観音寺線（山南町草部） 林道赤井線（氷上町新郷）	83 万 4 千円

自治会等地域組織による森林整備活動の推進

事業名・内容	実績値	事業費
森林山村多面的機能発揮対策交付金 （国の事業。市が一部負担）	11 組織 活動面積 49.6ha	84 万 7 千円
地域の森林づくり活動支援事業 （市単独事業）	下三井庄林野委員会 0.75ha 水西自治会 0.2ha	8 万 6 千円
丹波の里山づくり促進事業 （丹波の森協会、丹波県民局、丹波管内の 2 市による実行委員会事業）	平松区森林愛好会 ふるさと和田里山づくり協会 国領地区自治協議会	市は実行委員会へ 負担金を支出

丹波市産材の利用促進

事業名・内容	実績値	事業費
公共建築物等への木材の利用推進 （丹の木づかい推進プラン）	中学校の学習机・椅子の導入 氷上、春日 計 320 セット	基金充当 1,000 万円 （総事業費 1,136 万 9 千円）
地元産材を用いた住宅建築への支援	9 戸 使用材積 163.5596 m ³	277 万 5 千円

県民緑税を活用した森林整備の推進（県直営事業のため事業費の記載無し）

事業名	内容	実績値
野生動物共生林整備※	（整備造成） （調査）	市島町与戸 4.95ha 市島町段宿
里山防災林整備※	（整備造成） 〃 （調査）	春日町池尾 2.46ha 青垣町田井縄 5.53ha 青垣町口塩久
緊急防災林整備（渓流対策）	（整備造成）	市島町下竹田 2.72ha 石生 2.35ha 野村 3.54ha
緊急防災林整備（斜面对策）	（整備造成）	13 箇所 42.3ha

森林環境譲与税を活用した森林整備の推進

事業名・内容	実績値	事業費（市費）
森林吸収源整備事業	整備面積 86.24ha 作業道 1,558m	5,326 万円
緊急里山林整備事業	整備業務 21 箇所 調査業務 2 地区	2,901 万円
林業事業体等活動促進事業	1 団体 3 名	7 万 5 千円
未整備林広葉樹転換促進事業	3 箇所（氷上町上新庄、青垣町沢野・遠阪） 環境機能増進伐 7.17ha 植栽 0.15ha 森林作業道 684m 地拵え 0.15ha 獣害防護柵 153m	1,935 万 2 千円
道路支障木伐採事業	山南町畑内 支障木伐採 52 本 広葉樹林整備等 0.1ha	229 万 7 千円

木材利用の普及啓発

事業名・内容	実績値	事業費（市費）
ハッピーバース応援ギフト事業 （出生祝い品として木製玩具を贈呈）	新生児への贈呈件数 250 件	418 万 4 千円
生ごみ処理機キエーロ購入補助 （市産材製の生ごみ処理機購入に係る費用支援）	補助基数 37 台	3 万 7 千円
児童福祉施設への木製玩具贈呈	認定こども園 13 園 子育て学習センター 6 施設 小規模保育施設等 8 施設	805 万円

林業普及推進員制度の活用

林業普及推進員（14 名）の自治会等への派遣・協議	1 自治会等 延 7 回 （生郷 7 回）
---------------------------	--------------------------

森林病虫害防除対策の推進

事業名・内容	実績値	事業費
伐倒駆除（現年枯れ）	下三井庄、鹿場 伐倒材積 100m ³	全額県費
景観伐倒業務 （過年枯れ松林整備）	下三井庄 伐採材積 80.5 m ³	108 万 3 千円 （54 万 1 千円県費）

気象災害等による倒木等の処置対策

事業名	実績値	事業費
簡易土留工設置事業	敷設土留工 39 基 延 130.6m	152 万 8 千円

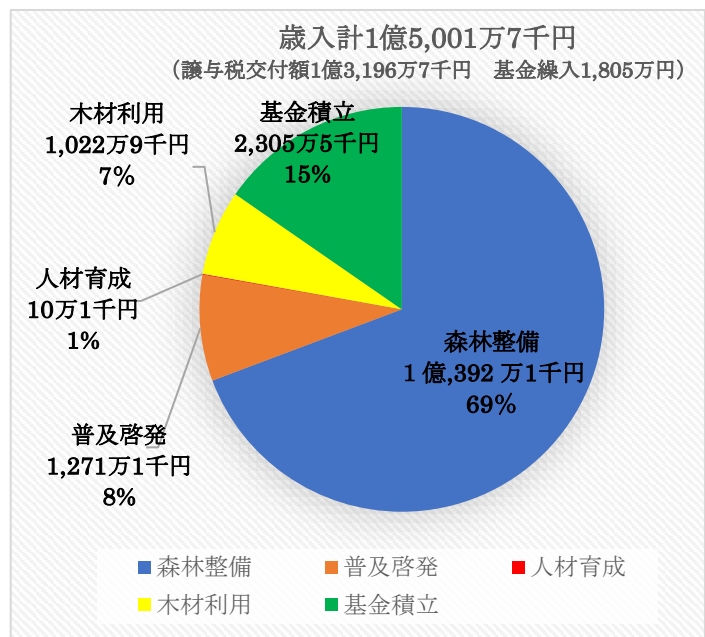
緑化推進事業

緑の募金事業	団体、窓口、職場募金による募金額 213,924 円（R6 募金）の 1/2 を財源に緑化事業が実施できる。R6 は実績無し。R7 に 1 団体が予定。
森と緑とのふれあい支援事業	緑の募金を財源とした、県の緑化推進協会による助成事業。 ・山南町畑内自治会 サクラ・モミジの植栽 27 万円助成 ・氷上町上由利自治会 ケヤキの保存事業 50 万円助成

森林環境譲与税活用事業の使途（令和6年度決算・令和7年度予算）

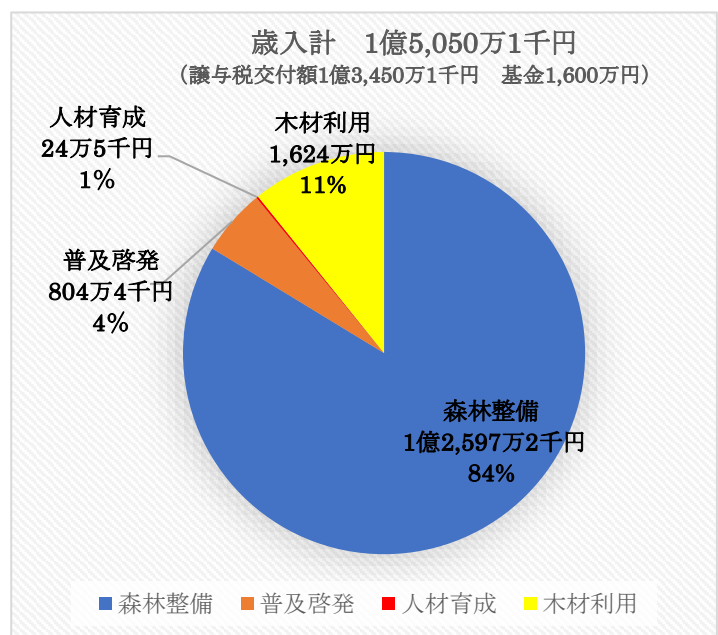
【令和6年度決算】（単位：千円）

区分	事業名	事業費
森林整備	緊急里山林整備	29,010
	森林吸収源整備	53,261
	未整備林広葉樹転換促進	19,352
	道路支障木伐採	2,298
普及啓発	林業普及推進員活動	7
	ハッピーバース応援ほか	4,255
	木製玩具贈呈	8,050
	制度活用等経費	399
人材育成	林業事業体活動促進	76
	森林づくりビジョン検討委員会	25
木材利用	木質バイオマス搬出支援	229
	公共施設への木材利用	10,000
基金積立		23,055
合計		150,017



【令和7年度予算】（単位：千円）

区分	事業名	事業費
森林整備	緊急里山林整備	35,200
	森林吸収源整備	48,355
	未整備林広葉樹転換促進	7,361
	道路支障木伐採	5,000
	森林整備加速化促進整備	30,056
普及啓発	林業普及推進員活動	37
	ハッピーバース応援ほか	5,350
	制度活用等経費	357
	Jクレジット制度活用	2,300
人材育成	林業事業体活動促進	150
	森林づくり協議会	95
木材利用	木質バイオマス搬出支援	240
	公共施設への木材利用	16,000
合計		150,501



令和7年度林業振興施策の進捗について

＜森林づくりビジョンの基本方針に基づく主要な林業施策＞

基本方針	具体的事業
源流の森林づくり	○森林吸収源整備事業(譲与税事業) - 急傾斜や奥地のため手入れが行き届いていない“未整備林”を二酸化炭素吸収源として位置づけ地球温暖化防止や土壌保全といった環境保全機能の向上に向けた森林整備に取り組む。 - 計画：60ha 進捗：24.89ha【予算額：4,835万5千円】 ○未整備林広葉樹転換促進事業(譲与税事業) - 未整備林内の人工林において、森林の公益的機能の発揮が期待できる広葉樹へ転換し、混交林化に取り組む。 - 計画 植栽 2.5ha 防護柵 1,380m 進捗：着手済【予算額：736万1千円】
里山保全の森林づくり	○緊急里山林整備事業(譲与税事業) - 人家裏危険木伐採や里山整備を自治会要望に基づき実施 - 計画：9地区 25箇所 で整備 2地区 で調査 - 進捗：2地区 13箇所 を契約済【予算額 3,520万円】 ○道路支障木伐採(譲与税事業) - 安全に道路を通行できるように、通学路等の道路沿いの支障木の伐採による森林整備を実施。 - 計画：2箇所【予算額：500万円】 ○里山活性化による多面的機能発揮対策交付金事業(国交付金) ○地域の森林づくり活動支援事業(市単独) - 地域住民が市民参画意識のもとで取り組む、森林の保全管理活動への支援。国交付金の多面的機能発揮対策事業と、市単独事業である地域の森林づくり活動支援事業により展開している。 - 活動組織数 多面的：9組織 地域の森林：2組織 - 整備面積 多面的：45.1ha 地域の森林：0.4ha ○県民緑税による災害に強い森づくり事業(県営事業) - 緊急防災林整備(斜面对策) 計画数：14箇所 - 里山防災林整備 調査地区：沼、市原 整備地区：口塩久 - 野生動物共生林整備 調査地区：五ヶ野 整備地区：段宿
経済循環の森林づくり	○森林整備加速化促進事業【譲与税事業】 - 施業意向があり、搬出が可能な森林において隣接地所有者が不明または施業不同意等により経営計画が樹立できない森林に対して、搬出間伐を実施する。 - 計画：30ha ・進捗：9ha【予算額 3,005万6千円】 ○森林管理 100%作戦推進事業(国県随伴事業) ○作業道整備促進事業(市単独事業) - 森林経営計画による間伐と作業道整備に係る国県造林事業補助の随伴補助を行うことで、間伐(搬出・切捨)を促進する。 - 計画：間伐 245ha 作業道：27,000m - 進捗：間伐 6.04ha 作業道：1,268m 【予算額 4,869万6千円】

森林資源の利用拡大 及び地産地消の推進	○公共施設の木造・木質化の推進(譲与税事業) ・公共施設の新築、改修等において、木造、木質化を進める。市産材の活用促進のため、財源は森林環境譲与税基金を活用する。 ・計画（実施中） 市島複合施設の内装木質化 青垣、山南中学校の学習机・椅子の更新 400 セット 【基金取崩額 1,600 万円】 ○地元産材利用促進事業(市単独事業) ・個人住宅、店舗、事業所、倉庫等の市産材利用材積量に応じて、補助を行い、市産材の利用拡大と地域経済の活性化につなげる。補助額：20,000 円／m³ ・計画：18 戸 進捗：4 戸【予算額 620 万円】
協働の輪を広げる仕組みづくりの推進	○林業普及推進員制度の取組(譲与税事業) ・森林に対しての不安や悩みを持つ自治会等への派遣 林業普及推進員（14 人）を通じた情報発信 【予算額：3 万 7 千円】 ○生ごみ処理機(キエーロ)の購入補助(譲与税事業) ・市内産材により作製される生ごみ処理機の購入補助の財源支援により、木材利用に係る普及啓発と資源循環の促進を図る。 計画：100 基分【予算額 10 万円】 ○ハッピーバース応援ギフト事業(譲与税事業) ・出生祝い品として、「木育」の視点で市内産材木製玩具を贈呈し、木材利用に係る普及啓発を図る。 計画：新生児 370 人 【予算額 525 万円】 ○J-クレジット制度活用事業(譲与税事業) ・市有林を中心とした森林において、J-クレジット制度の活用による森林整備を約 60ha 実施し、CO₂ 吸収量のクレジット化と販売促進により、森林整備の付加価値の創出を図る。 ・計画：345 t -CO₂ 【予算額 230 万円】
森林づくりを支える人づくりの推進	○林業事業者等活動促進事業(譲与税事業) ・林業従事者のスキルアップに係る講習会等への参加経費の支援を行い、人材育成を図る。 ・計画：10 名分 【予算額 15 万円】 進捗：2 名 ○丹波の里山づくり促進事業(実行委員会事業) ・丹波の森宣言（昭和 63 年）により進められてきた「美しい丹波の里山」を、次世代へ繋いでいくための取組。県、丹波の森協会、丹波篠山市と協働により実行委員会を組織し、活動団体へのアドバイザー派遣や技術研修など里山づくりの促進に係る事業を展開している。 ・計画：アドバイザー派遣の計画活動組織 5 団体 【予算額：117 万 5 千円】

今後の林業振興施策について

令和6年度から森林環境税の徴収が始まり、森林環境譲与税の使途に対して更に注目が高まっている。令和6年度の丹波市への譲与額は1億3,196万円で、令和5年度比で約3,580万円の増額となった。令和7年度も同程度の譲与額が見込んでおり、制度の趣旨を踏まえた更なる林業振興施策を展開していくことが求められている。

森林のあるべき姿とその実現に向けた取組の方向性を示した「丹波市森林づくりビジョン（令和6年8月改定）」に基づき、これまで取り組んできた林業施策を着実に実施するとともに、森林・林業を取り巻く情勢や市民ニーズを踏まえた施策を展開していく。

（１）森林づくりビジョンの実現に向けた施策の展開

①環境に配慮した森林施策の展開による源流の森林づくり

「ゼロカーボンシティ宣言」及び「オーガニックビレッジ宣言」により、環境に配慮した取組を推進しており、森林施策においても森林が持つ環境保全機能の発揮を目指した施策を展開していくことが求められている。

森林環境譲与税を活用した既存施策「森林吸収源整備事業」「未整備林広葉樹転換促進事業」の更なる充実を図り、環境に配慮した機能の向上による源流の森林づくりを推進する。

②Jクレジット制度を活用した森林整備と新たな付加価値の創出

脱炭素社会の実現に向けて創設されているJクレジット制度活用を、市有林を中心とした森林で取り組んでいる。

令和6年度～7年度にかけて森林整備を実施し、二酸化炭素吸収量のクレジット化を進めているところであり、効果的な販売活動に向けて検討を進めている。

制度活用による森林整備の新たな付加価値の創出を図り、更なる森林整備の促進につなげていく仕組みの構築に取り組んでいく。

③里山保全の森林づくりによる森林管理意識の向上

人家裏の危険木伐採と里山整備を行う「緊急里山林整備事業」や、生活道路への支障木の整備を行う「道路支障木伐採事業」など、住環境の改善につながる里山保全の整備を進めることで、森林管理意識の向上を図る。

住民参画意識により森林整備を行う団体に対して運営支援を継続し、地域とともに里山保全の森林づくりを進めていく。

④所有者の森林管理意向の把握と適切な森林管理の推進

森林経営管理制度の趣旨を踏まえた森林所有者の管理意向の把握に向け、該当エリアの選定方法や施策提案の可能性等を林業事業体と連携して検討していく。

（２）森林資源の循環利用と需要拡大

①公的森林整備による搬出間伐の促進

森林資源の循環利用を図るため、造林事業に加えて、新規に創設した「森林整備加速化促進事業」による搬出間伐を推進し、公的森林整備の充実を図るとともに、搬出経路となる林道及び作業道の適正な維持管理に取り組む。

②木材利用の促進

公共建築物への木材利用を積極的に進めるとともに、個人住宅や事業所など民間建築物への市産材利用に係る支援の拡充を検討し、市産材の利用拡大を図る。